

## 就学前教育にかかると人材確保の現状と課題

### 【幼児課・就学前教育にかかると人材確保対策について】

#### ■はじめに

「長浜市就学前教育カリキュラム」の策定

教育施設・保育施設を一元化



幼児期における質の高い保育・教育の実践



保育士の確保が喫緊の課題

#### ■保育士人材確保の現状と課題について

保育士不足

H27～H29 長浜市立園所 教諭・保育士等数の推移

	H27	H28	H29
正規定数	277	294	303
正規配置数	237	234	237
正規の欠員数	40	60	66
正規・臨時・パート 必要数	557	578	570
正規・臨時・パート 配置数	548	541	525
総欠員数	9	37	45

「潜在保育士」が全国で約16万人

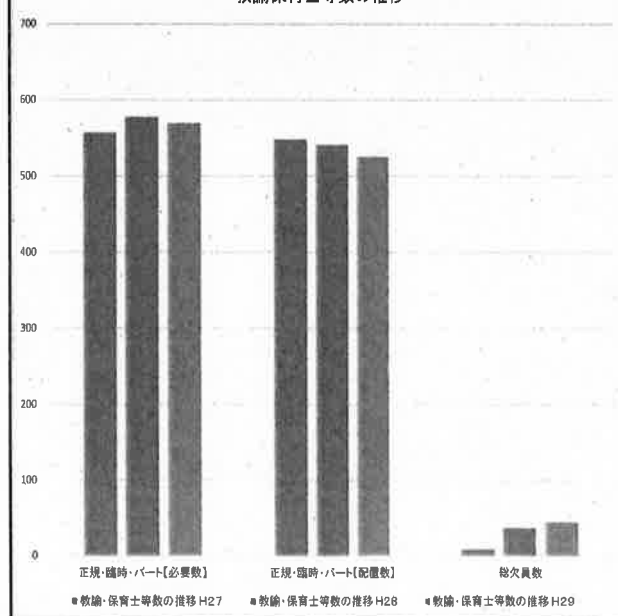


資格を有しながら  
保育士としての勤務を  
希望しない

理由は？

- ・賃金が希望と合わない
- ・休暇が少ない、休暇が取りにくい
- ・責任の重さ、事故への不安
- ・就業時間が希望と合わない

教諭保育士等数の推移



■ 保育士人材確保の方策について

- ・ 処遇改善や勤務環境の改善に取り組む
- ・ 事故や保護者対応など、サポート体制の充実
- ・ 行政と大学が連携したキャリア支援
- ・ 保育実習の充実

☆ 看護師・養護教諭・事務職等 専門職の配置  
 ☆ 長浜市保育士等奨学金返還支援事業  
 ☆ 採用試験 経験者枠

H23～H28 長浜市立園所 担任・副担任手当の推移

	園・所	担任手当	副担任手当
H 2 3	保育園	1, 0 0 0 円	1, 0 0 0 円
	幼稚園	3, 0 0 0 円	なし
H 2 4	保育園	6, 0 0 0 円	2, 0 0 0 円
	幼稚園	6, 0 0 0 円	なし
H 2 8	幼・保・認	1 0, 0 0 0 円	4, 0 0 0 円

## 『長浜市保育士等奨学金返還支援金』

**長浜市で保育士等として働かれる方に奨学金の返還を支援します！！**

修学のため奨学金を借り、卒業して長浜市内の保育施設等に就業された場合に、奨学金の返還に要する経費に対して支援するものです。

**対象者** (次のいずれにも該当すること)

- ①平成30年度から平成34年4月1日までに市内の保育所・認定こども園・幼稚園に就業した保育士等(平成29年度以前に、市内の保育所・認定こども園・幼稚園での勤務実績のない人)
- ②支援申請の年度を通じて1年間継続して勤務した人
- ③常勤(週30時間以上勤務)の保育士・幼稚園教諭・保育教諭であること
- ④大学・短大・専修学校専門課程の在学中に「日本学生支援機構」奨学金の貸与を受けた人

**支援内容**

- ①奨学金の貸与を受けた月数に2万円を乗じた額(「支援基準額」、最大96万円)を上限に、返還を支援します。
- ②4月に支援金の申込みを行い、1年間の勤務ののちに支援金が交付されます。
- ③支援金の交付は3回まで行います。各回の交付額は次の通りですのでご注意ください。

- \*1回目(1年目) 「支援基準額」と当該年度4月1日の奨学金返還残額を比較して低い方の額の6分の1
- \*2回目(2年目) 「支援基準額から既交付額を引いた額」と当該年度4月1日の奨学金返還残額を比較して低い方の額の5分の1
- \*3回目(3年目) 「支援基準額から既交付額を引いた額」と当該年度4月1日の奨学金返還残額を比較して低い方の額

- ④支援金の交付は、当該年度において支援額相当の奨学金の返還が行われていることが条件となります。
- ⑤毎年度4月に申込受付を行います。



※この事業は、平成37年度までの期間限定事業として実施する予定のものです。

問合せ・申込先 〒526-8501 長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階  
長浜市教育委員会事務局 幼児課 電話 0749-65-8607

保育人材確保のための  
『魅力ある職場づくり』に向けて

平成26年8月

厚生労働省

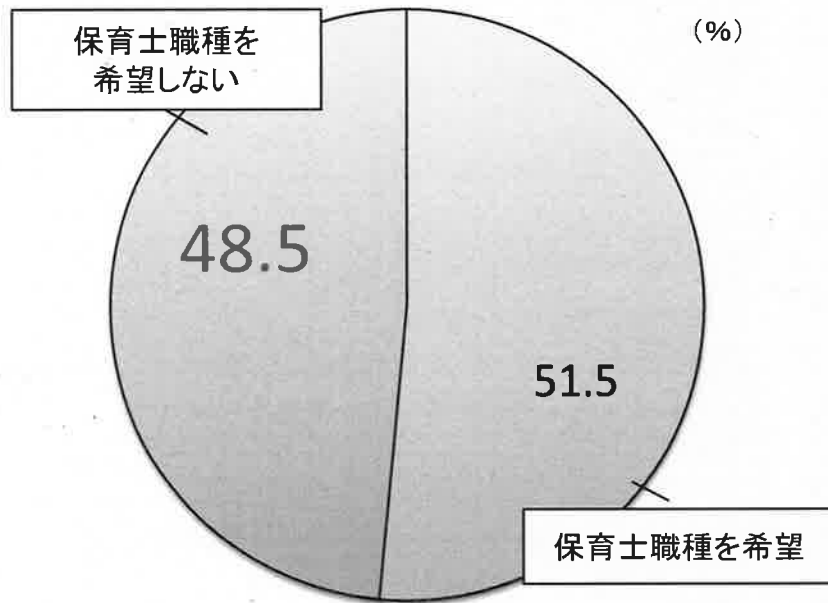
# 保育分野における人材不足の原因・理由①

## 就業希望者が増えない理由

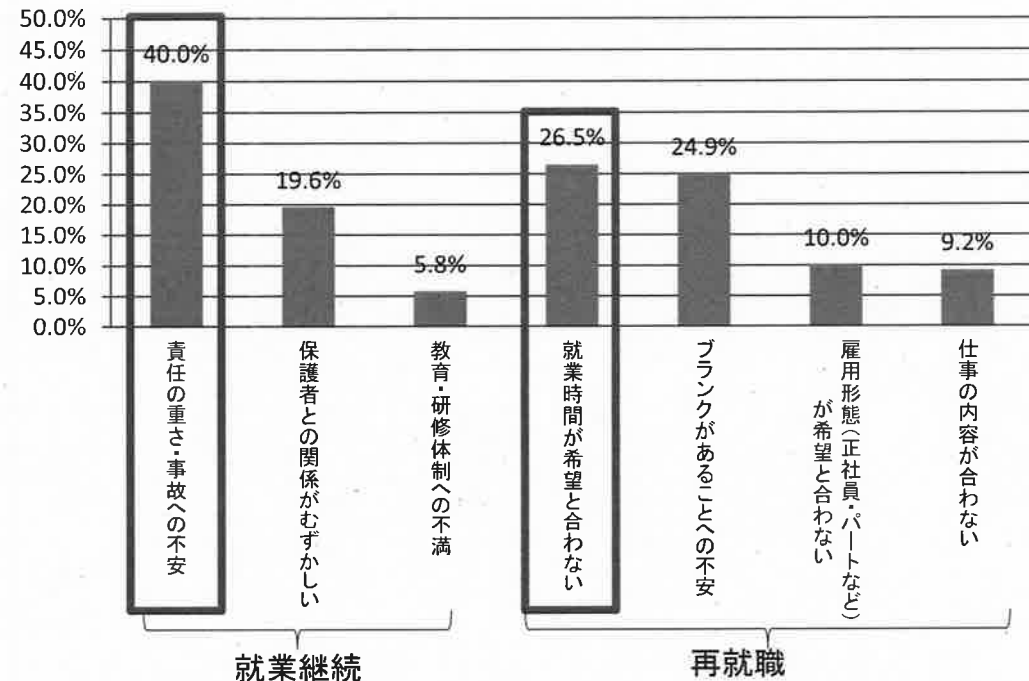
- 保育士資格を有するハローワーク求職者のうち約半数は保育士としての就業を希望していません。
- 保育士職への就業を希望しない理由で、就業継続に関する項目としては「責任の重さ・事故への不安」が最も多く、再就職に関する項目としては「就業時間が希望と合わない」が最も多い。

➔ 入職者を拡大するためには、入職に対する不安を取り除くサポート体制や、家庭の状況などにより就業時間へ配慮等が必要

【保育資格保有求職者における保育士職種の就業を希望する割合】



【保育士としての就業を希望しない理由】(複数回答)



【出典】厚生労働省「主な人手不足職種に関するハローワーク求職者の免許・資格の保有状況(労働市場分析レポート 第3号)」  
厚生労働省職業安定局「保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者に対する意識調査」(平成25年)

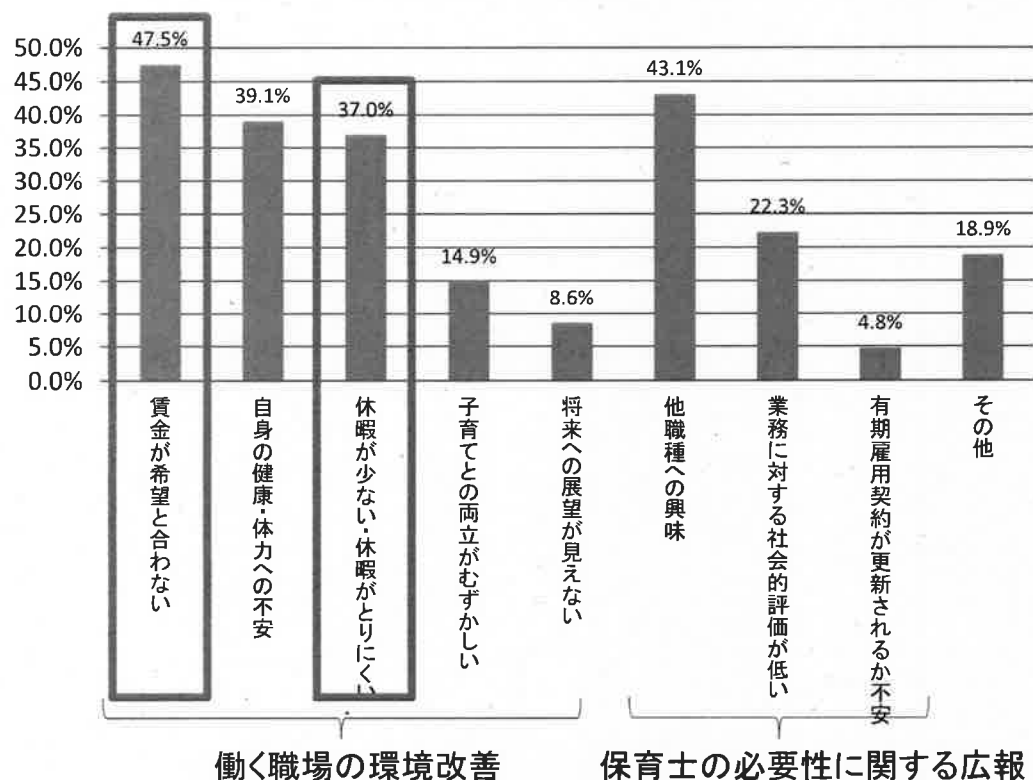
# 保育分野における人材不足の原因・理由②

## 就業希望者が増えない理由

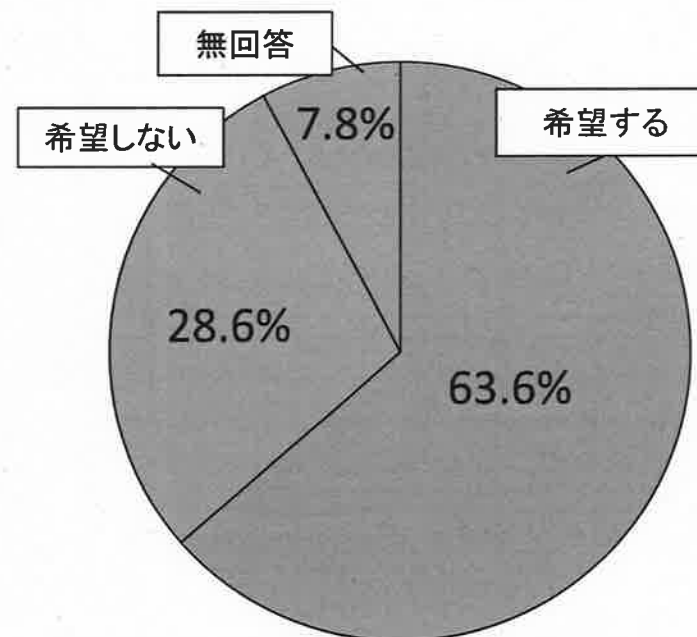
- 保育士職への就業を希望しない理由で、働く職場の環境改善に関する項目としては、「賃金が希望と合わない」が最も多く、「休暇が少ない・休暇がとりにくい」ことなどが挙げられている。
- 保育士職への就業を希望しない理由が解消した場合、63.6%の者が保育士を希望。

➡ 入職者を拡大するためには、処遇改善や勤務環境の改善に取り組み、職場としての魅力高めることが必要。

【保育士としての就業を希望しない理由】(複数回答)



【就業を希望しない理由が解消した場合の保育士への就業希望】



(注) 回答者1人当たりの希望しない理由選択数が3.7と多岐に渡っていることに留意が必要。